



映画監督・脚本家 神山征二郎

■講演内容

1971年、30才で監督昇進してから55年になります。その間31作品を監督しました。最新作は中山晋平さんの生涯を描いた「シンペイ・歌こそすべて」です。映画産業の斜陽化がいちじるしい時代でしたから労苦は絶え間なく続きました。

しかし、幸いなことに新藤兼人、今井正監督など師に恵まれて、なんとか絶え間なく映画を作りつづけてきました。その軌跡とともに映画をつくることとはどんなことかをお話いたします。

6/21(日)

開場13:30

14:00▶16:00



神山 征二郎

(こうやま せいじろう)

1941年岐阜県生まれ。日大芸術学部映画学科に学び、65年、新藤兼人監督の主宰する近代映画協会に参加、同氏や吉村公三郎・今井正らの監督助手として修業を重ねる。71年の監督第一作「鯉のいる村」で文部省特選、

76年の「二つのハーモニカ」(文部省特選)で日本映画監督協会新人奨励賞受賞。独立後、83年の「ふるさと」ではモスクワ映画祭最優秀男優賞(加藤嘉)、文化庁優秀映画奨励賞など内外で多数の賞を得た。87年の「ハチ公物語」では山路ふみ子映画賞を受賞、同作品は年間興収ベストワンとなった。88年に神山プロダクションを設立、以後「千羽づる」(ジンバブエ国際映画祭最優秀映像賞)、「白い手」(日刊スポーツ映画大賞監督賞、毎日映画コンクール優秀賞)などで高い評価を受ける。92年、野口英世の障害と母の愛を描いた感動作「遠き落日」の大ヒットでより大きな支持と期待を集めた。93年には、特攻隊員と古いピアノにまつわる追憶の鎮魂歌ともいふべき「月光の夏」が好評で、ロングラン上映を重ねた。

塩尻市市民交流センター(えんぱーく)
3階 多目的ホール

定員 / 130人(先着順) 参加費 / 無料

📄申し込み

申込開始：5月15日(金)

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、メールのいずれか。メールの場合は次の内容をお送りください。

宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
 件名 「6/21 本の寺子屋申込」
 本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
 2 代表者電話番号
 3 お住まいの地区
 4 この講演会を知ったきっかけ